



# 【NEZU システム通信】

(Vol.0048)

発行日 2013.12.6

## ごあいさつ

今回の NEZU システム通信は、

日頃は NEZUGROUP とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟 2013 年 11 月発表)

迫る Windows XP サポート終了 についてお届け致します。

## 鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需給の動き 2013 年 11 月』の資料を閲覧することが出来ます。(次回公表は 12 月下旬予定です。)

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1311.pdf>

## 迫る Windows XP サポート終了

### XP のサポート終了

既に巷で話題になっていますが、マイクロソフトは来年 2014 年 4 月 9 日で Windows XP (以下 XP) のサポートを終了します。サポート終了になると、これまでは Windows Update 等でダウンロードできていた「ソフトウェア更新プログラム」が提供されなくなります。更新プログラムの中にはセキュリティ更新プログラム、通称パッチも含まれており、OS に脆弱性が見つかったとしても、修繕されなくなってしまうのです。

Windows XP/Office 2003 をご利用のお客様へ

**サポート終了の重要なお知らせです。**

マイクロソフト「Windows XP と Office 2003 のサポートが終了します」

[http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp\\_eos.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp_eos.aspx)

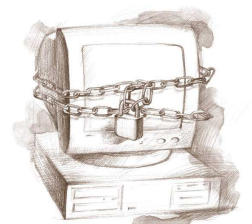
サポート終了後も XP を使い続けると、セキュリティリスクが飛躍的に高まります。ウイルスに感染してしまうと遠隔操作されたり、データを抜き取られたり、他へ感染の踏み台にされたりします。最近ではデータを破壊して、復旧するための身代金を要求するウイルスもあります。これらの攻撃は、セキュリティソフトを入れていたとしても完全に防ぐことができません。できる限り、攻撃に使われる脆弱性という穴を塞いでおくしかないのですが、穴を塞いでくれるパッチが、提供されなくなってしまうのです。

### それでも XP を使い続けるには

どうしても XP を使い続ける必要がある、または他の OS への乗り換えが間に合わない、といった場合、セキュリティの強化は必須です。何はともあれ高機能なセキュリティソフトが重要になります。大手のセキュリティソフト各社では XP を延長サポートしていますので、数年は大丈夫でしょう。

日経 BP 社「法人向けウイルス対策ソフトの X P 対応状況」

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20130510/476133/>



ウイルスの感染経路は、「ウェブサイト閲覧」「メール経由」「ネットワーク経由」「ファイル共有」が挙げられます。ウイルスは必ず外部から侵入してきます。侵入経路さえ絶てしまえば、攻撃を防ぐことができ

ます。ウェブサイトの閲覧をしない、メールもしない、ファイアウォールを設定する、ファイルのやり取りもしない、といった対策をとれば、感染を防ぐことができます。


ある市役所では XP のセキュリティ対策としてパソコンの LAN と USB コネクタにテープを張った、なんて苦笑いしそうなネット記事もありますが、あながち間違いではないかもしれません。

## 基本は やはり XP の置き換え

メールやインターネットも必要となれば、やはり根本的な解決方法は OS の乗り換えとなります。乗り換え先の OS は、今なら Windows 7 にするか、Windows 8 にするか、選択できます。

Windows 7 なら、動作するソフトも対応済の周辺機器も多く、使い勝手も XP とはそれほど違いありません。先行して対策に着手した企業の多くでは、Windows 7 が乗り換え先 OS の第 1 選択肢になっているようです。



では最新 OS の Windows 8 ですが、実は Windows 7 と比べてそれほど異なっているわけではありません。全画面でのタッチパネル操作が先行イメージされてしまったため、タブレット PC 向けという印象を持たれる方もいるかと思いますが、普通のウィンドウ画面を普通にマウスとキーボードで操作できます。

また、マイクロソフトによると、Windows 8 のマルウェアの感染率は、Windows 7 の 6 分の 1、XP の 21 分の 1 なのだそうです。やっぱり新しいもののほうが頑丈だということですね。10 月 18 日に提供開始された Windows 8.1 では、さらに多くのセキュリティ機能が搭載されたそうです。

Microsoft 「セキュリティ上の脅威の進化と企業への影響」

[http://blogs.technet.com/b/microsoft\\_japan\\_corporate\\_blog/archive/2013/09/25/3598650.aspx](http://blogs.technet.com/b/microsoft_japan_corporate_blog/archive/2013/09/25/3598650.aspx)

そして重要なのは、**使用するソフト、周辺機器の事前の動作確認**です。置き換えた途端にパソコンが使えない、業務ができない、では困りますからね。

また、忘れてならないのは、Office 2003 製品群。XP 同様にサポート終了となりますので、対策をお忘れなく。

## 根津グループでは...

弊社のパソコンの OS は、全て XP です。全社合わせると 230 台以上稼働しています。

情報システム事業部では、昨年より Windows 7、Windows 8 を試験導入し、ソフトウェア、ハードウェアの動作検証をしてきました。Windows 8 のセキュリティレベルの高さは魅力ですが、Windows 7 と比べて操作の変更点が多いこと、新たに OS を購入する必要があること等により、乗り換え先から外しました。最新の Windows 8.1 も検討しましたが、社内 PC 環境標準の一つである液晶 2 画面表示を実現するための機器が正常に動作せず（検証当時。現在に対応済）やはり対象外となりました。



結果として、動作安定度の高い Windows 7 が妥当と判断し、全社共通の乗り換え先の OS としました。

現在は、全社のパソコンを3つのグループに分けて移行作業をすすめています。

#### XPのまま継続運用する

工場パソコンでは、ウェブサイトの閲覧やメール送受信も行わないので、そのまま使用する。

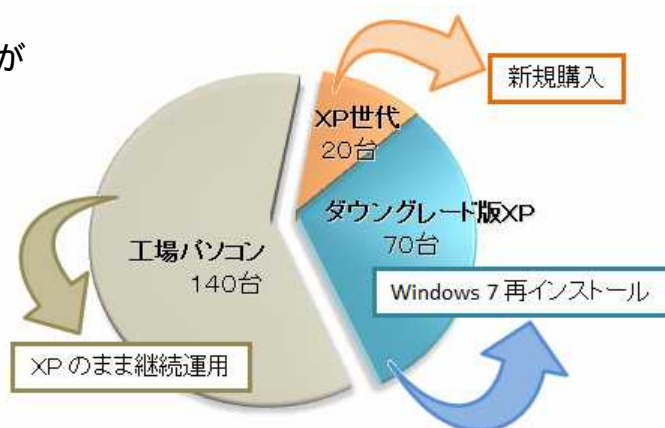
#### パソコンを新たに購入する

XP時代に購入した古いPCはCPUやメモリ等のスペックが低いので、新規にパソコン(OSはWindows 7)を購入する。

#### OSをWindows7にアップグレードする

最近購入したパソコンはWindows 7からXPへダウングレードして使用していたので、Windows 7を再インストールする。

ダウングレード版のパソコンは、ダウングレード前のOSが使用できます。ただし再インストールが必要です。



パソコンの手配、OSやソフトの再インストール作業、データ移行、動作確認、トレーニング、とスケジュールは目白押しですが、弊社グループでは4月までに全パソコンのXP対策が完了しそうです。

### 企業のITセキュリティ対策が求められる時代

マイクロソフトが決めた「サポート終了」で、セキュリティリスクが増してしまう。これはどうしようもありません。ただ、放っておくわけにはいきません。セキュリティ的に脆弱性のあるシステムを使用していくことは、そのパソコンだけの問題にとどまらず、企業内の他のパソコンはもとより、メールやデータ交換をするならば、お客様や取引先にも影響を与えかねません。もし問題が発生すれば、セキュリティリスクに対する企業の姿勢を必ずや問われるでしょう。

「パソコンのセキュリティなんて知らない」なんて大昔ならいざ知らず、現在では的確、適切な対応をとることが求められています。

### 編集後記

こんにちは。情報システム事業部の小出です。先日、長野県の車山高原で行われた「第27回フレンチブルーミーティング」という、フランス車の「お祭り」に行ってきました。全国から数千台のフランス車が集まるイベントで、会場や周辺の駐車場はフランス車で埋め尽くされます。

フランス車自体が日本では少数なのですが、妻の車はさらに不人気車?のため、購入した当初から今でも、地元で同じ車種に巡り合える回数は年に一度あるかどうか。毎年このイベントで同じ車を見つけるのを楽しみにしています。今年は5台も見つけられたそうです。



会場では古い車のオーナーも新しい車のオーナーも、みな一様に楽しんでいました。車は故障と事故さえ起きなければ、いつまでも楽しめます。妻も絶対に十年は乗る!と息巻いています。ではパソコンの方は?と聞くと「なんだか最近、遅くなっちゃってる」と。どうやらサポートが必要なようです。

発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1-32-5 (TEL)03-3805-5555  
メール：[hp\\_master@nezu-g.co.jp](mailto:hp_master@nezu-g.co.jp) ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>  
発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長  
編集：情報システム事業部 NEZUシステム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが [hp\\_master@nezu-g.co.jp](mailto:hp_master@nezu-g.co.jp) までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。